

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 若宮園
日付	平成19年3月2日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)	

外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>入居時に、家族や入居者として話し合い、出来るだけ希望に沿ったケアプランが立てられています。意見や要望もかなり出て、実りのある話し合いが来ています。</p> <p>特に入浴は午前中でも夜でも出来るように、入居者の意向を聞いて対応しています。入居者には、今の状態を維持できるよう、分担した役割づけをして頂いています。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>新しく入ったばかりの職員が多いため、管理者の指示に従っているという感じを受けました。職員間での状況が把握できるよう、言葉を掛け合い、コミュニケーションを深めることも大切だと思います。居室で過ごすことの多い入居者にも積極的に声を掛け、共に過ごす時間を増やすことが出来たらよいのではないかと思います。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 「いままでの暮らしを維持する事、入居者が何をしたいか決めてもらうこと、残存能力を維持する事、」を目標に、行き届いた介護を目指しています。ケアプランを決めるときも家族だけではなく、入居者にも参加してもらっています。無理強いはありませんが生活リハビリを兼ねて、入居者にはそれぞれ係を決めています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 日頃から見守りを重視して、入居者と話をしています。帰宅願望のある入居者には、契約書を見せて理解させたり、家族となるように言葉かけの仕方も変えたりしています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライトを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) ・できることは自分でお願ひしています。洗濯物をたたむ、料理の準備(野菜を切る)、盛り付けなど、入居者に係を決めてお願ひしています。 ・トイレに誘導するときには他の入居者に配慮して「トイレ」と言わないように注意しています。 ・グループホームの事務室は誰でも自由に入れるので、入居者の記録簿などはきちんとしっかりした場所へ保管されています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	家族と常に連絡を取り、何かあればすぐに対応しています。また、隣接した施設で勉強会を毎月行って、職員のレベルアップに役立っているようです。 職員には資格を取ってもらいたいと考えています、ヘルパーに入った人には介護福祉士の資格を取ってもらうなどしています。		